

公益財団法人日本水泳連盟
シンクロバジテスト制度

= 目次 =

実施マニュアル	2
1. バジテストの目的	2
2. バジテストの効果	2
3. バジテスト実施	3
4. 採点方法と合否判定基準	4
5. バジテスト認定証及び認定バジの交付	5
6. 競技会の出場資格	5
認定証	6
認定バジ	7
制度の流れ	8
開催申請書	9
検定実施要項（例）	10
検定申込書	11
認定申込書	12
基準表	13
ミニルーティン	16
規程	19
実施細則	21
検定員規程	23

(公財) 日本水泳連盟

シンクロバジテスト 実施マニュアル

1. バジテストの目的

(公財) 日本水泳連盟では全国統一のシンクロ基本技術を一貫した指導理念の基、発育・発達に沿った最適なカリキュラムを作成、それらを段階的に到達目標を設定しシンクロ技術を1ステージごとに確実に習得していきけるシステムを策定「シンクロバジテスト」として全国に普及強化していくことになる。シンクロ競技は4泳法をマスターした上で、シンクロ独自の泳ぎ、多様な動作・技術を習得していかなければならない。それら技術の習得には長年の年月を要するが、まず目的と目標をしっかりと設定することから始まる。そして最も大事なことは初歩の段階から必要不可欠の基本動作・技術を徹底修得しなければならないことにある。

このバジテストシステムは、本連盟シンクロ委員会がシンクロ育成に最適な基本技術を段階的にマスターしていけるように策定した競技者育成プログラムである。バジテストを順々にマスターしていくことにより基本技術を完成させることが出来る。また、全国統一された指導法が普及、常に新しい情報を得ることもでき、地域格差なく選手の強化育成が図られ、タレント発掘に繋がる。将来的には強化対象選手選出など、全国選抜もバジ階級別で選ぶことも可能である。

2. バジテストの効果

競技者育成プログラムの実践的施策のバジテストに求められる効果は、これを実践することにより指導者および選手がその競技レベルに応じた到達目標に向けて効果的にトレーニングを行うことができ、選手のトレーニング課題が明確になる。選手はトレーニング目標がはっきりすることにより、達成感を得ることができ、上達の感触を持つことができるようになり、楽しく練習をすることができる。

また、指導者は段階ごとにその完成度を確認することができ、[バジテストに参加する事により] 常に最先端の技術、情報を得ることもでき、過去にありがちであった地域格差もなくなりどこからでもジュニア強化からトップレベルまでの一貫した考えに基づく指導法が確立でき、有望タレント発掘強化にも繋がっていく。選手強化への効能ばかりでなく、シンクロ

愛好者たちは年齢、性別を問わず目的を持った楽しみ方ができ、シンクロナイズドスイミングの普及・啓発に寄与する効果も望める。

3. バッジテスト実施

—シンクロバッジテストの企画と準備—

各加盟団体のシンクロ委員長、各ブロック長およびシンクロバッジテスト担当者は、地域内の強化、普及活動事業の一環として常に「バッジテストステージ基準表」「教材 DVD」を提示し説明できる準備をし、啓蒙、啓発、実施へ向けての活動に努めること。

バッジテスト実施に当たっては特別に会場を設ける必要はなく、全国各地で開催される各競技会、予選会、発表会等に併せての開催でも良い。

また、シンクロバッジテストへの参加に（公財）日本水泳連盟の選手登録の必要はない。

1) 検定申し込み方法

受検希望者からの申し込み受付けは、所定の「シンクロバッジテスト検定申込書」と同時に検定料を徴収する。

注) ①受検者が18歳未満の場合、誓約書（保護者の承認）が必要。

②1回3ステージまで同時受検が出来る。

「シンクロバッジテスト検定申込書」をもとに「シンクロバッジテスト受検者名簿」を作成する。

2) 検定料について

ステージ1～6 1,500円

ステージ7～15 2,000円

徴収した検定料は主催者に納入し管理するものとする。

但し、このバッジテスト検定料は一般的なものであり、会場使用等の諸費用が必要な場合、検定料のほかに必要最小限度の範囲で受検者から諸費用を徴収することが出来る。

3) 認定の申請について

①担当者はシンクロバッジテスト合格者に「シンクロバッジテスト認定申込書」を配布する。

②「認定証」、「認定バッジ」の申請について

認定申込書と認定料 1,500 円を取りまとめ、指定口座に振り込む。

4) 検定員について

シンクロバッジテストを実施する場合の必要条件是（公財）日本水泳連盟シンクロ委員会認定のシンクロバッジテスト検定員によって検定される。

検定員 3 人以上が望ましい。

検定員は、必要に応じて補助員を動員することが出来る。

※公認シンクロバッジテスト検定員規程参照

5) 賠償責任保険について

主催者（または検定員）は受検者への「安全」「健康」「賠償責任保険加入（殆どの施設は賠償責任保険に加入しているが、未加入の場合は加入する）」の有無を確認の上、シンクロバッジテストを実施する。

6) シンクロバッジテスト基準表教材 DVD 申込みについて

シンクロバッジテスト基準ステージ 1 ～ 15 教材 DVD（2,000 円）申込みは原則として各加盟団体で取りまとめ（公財）日本水泳連盟宛申し込む。

4. 採点方法と合否判定基準

このシンクロバッジテストは、ステージ基準表および教材 DVD に沿って実施する。

1) 採点方法

採点は、0 ～ 10 とし、0.1 ポイントを使用。

2) 採点基準

完璧	10
完璧に近い	9.9 ～ 9.5
秀でている	9.4 ～ 9.0
大変良い	8.9 ～ 8.0
良い	7.9 ～ 8.0
十分	6.9 ～ 6.0
普通	5.9 ～ 5.0

不十分	4.9 ～ 4.0
弱い	3.9 ～ 3.0
大変弱い	2.9 ～ 2.0
認めがたい	1.9 ～ 0.1
完全な失敗	0

3) 結果の算出

検定員の採点の平均値。

4) 合否判定基準

- ①ステージ 1 ～ 6 5.0 以上
 ステージ 7 ～ 9 5.5 以上
 ステージ 10 ～ 15 6.0 以上
- ②やり直し・・・原則として認めない。
- ③各ステージ、各種目がそれぞれの合格基準に達していること。(1 種目が合格基準に達していない場合は不合格)

5. バッジテスト認定証及び認定バッジの交付

シンクロバッジテスト実施責任者から申請された「シンクロバッジテスト合格者名簿・結果報告書」および認定料の振込確認の上授与する。

6. 競技会の出場資格

2015 年 4 月 1 日現在

全国 JOC・ジュニアオリンピックカップ 13-15 ソロ・デュエット大会	ステージ 3 以上
日本シンクロチャレンジカップ 日本選手権（フリーコンビネーション） ナショナルトライアル	ステージ 6 以上
日本代表選手選考会	ステージ 9 以上

認 定 証

あなたは(公財)日本水泳連盟の定めた
Synchronised
Swimming
のシンクロ技術があることを認定い
たします



公益財団法人 日本水泳連盟
会 長 鈴木 大地



認定バッジ

見 本

ステージ 1～3（水色）



ステージ 4～6（パープル）



ステージ 7～9（緑）



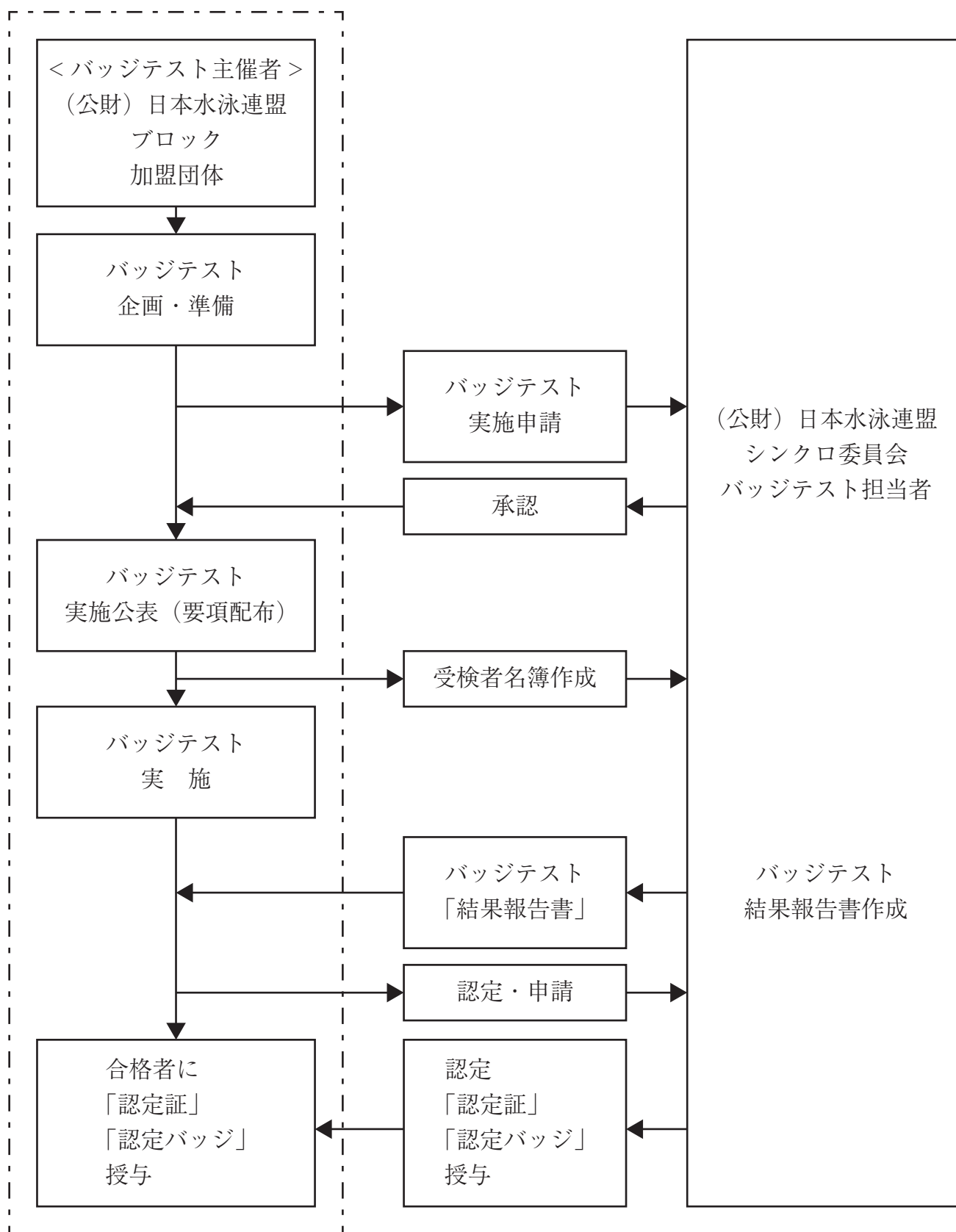
ステージ 10～12（青）



ステージ 13～15（シルバー）



シンクロバジテスト制度の流れ



（公財）日本水泳連盟 シンクロバッジテスト検定実施要項（例）

1. 主 催 （公財）日本水泳連盟
2. 検 定 者 （公財）日本水泳連盟 シンクロ委員会 検定員
3. 期 日 ○年○月○日（○） 検定開始時刻 ○時○分
4. 会 場 ○○○○プール
5. 参加資格 小学生以上の男女
6. 申込制限 1人3ステージまでとし、ステージ1から順次、受検する。
7. 検定方法 採点は0～10点とし0.1ポイントを使用。
8. 申込方法 申込書・誓約書を完記の上、受検ステージの検定料を添え下記へ申込む。
ステージ2以上を受験する際には下位ステージの認定証のコピーを添える。
9. 申 込 先 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
（公財）日本水泳連盟 シンクロ委員会 バッジテスト係
10. 検 定 料 1～6ステージ 1ステージにつき1,500円
7～15ステージ 1ステージにつき2,000円
11. 申込締切日 ○年○月○日（○）
12. その他注意事項
例① - 一旦納入された申込金は返金できません
例② - 遅刻は認めません

公益財団法人 日本水泳連盟

●●年度シンクロバジテスト検定申込書

フリガナ		申込年月日	年 月 日		
氏名		男 女	生年 月 日	年 月 日生	歳
住所	〒			電話 番号	
加盟 団体				所 属	
受検ステージを記入してください (3ステージ同時受検可)					
ステージ ()					
ステージ ()					
ステージ ()					

検定料 ステージ1～6 各 1,500 円 ステージ7～15 各 2,000 円

検 定 料	1,500 円	ステージ	円
	2,000 円	ステージ	円
合 計			円

※ 納入後の返金はありません

誓 約 書

私は、シンクロバジテストの申し込みを致します。

また、バジテストには自己の責任において健康管理を行い、万全の体調で参加することを誓約いたします。

申込者氏名

保護者氏名

印

※18歳未満の場合、保護者の承認が必要です

認定申込書

公益財団法人 日本水泳連盟 シンクロバジジテスト認定申込書

フリガナ		男 女	申込年月日		年	月	日
氏 名			生 年 月 日		年	月	日生
住 所	〒			T E L		— —	
加 盟 団 体			所 属				
受 検 日	年 月 日		受 検 会 場				
認定申込ステージに○をつけてください。							
ステージ1		ステージ4		ステージ7		ステージ10	
ステージ2		ステージ5		ステージ8		ステージ11	
ステージ3		ステージ6		ステージ9		ステージ12	
※認定料 1ステージ 1,500円 認定料 1,500円 × ステージ = 円 合計 円							

シンクロバジテスト 基準表

		スカーリング	フィギュア	シンクロスイム
入 門	ステージ1	上向き水平姿勢 → エール 5m	上向き水平姿勢 → タブ姿勢 → 180° → 180° → 上向き水平姿勢 (回転方向は自由)	バックキック (片腕 90° 片腕頭上又は体側、中央で手をチェンジする) 15m
		【ポイント】 顔、胸、脚、足先は水面で身体を伸ばす。頭 (特に耳) 腰、足首は一直線上。安定したスカーリングで頭の方へ進む。	【ポイント】 つま先、すねは水面。つま先を伸ばす回転中、顔、足先が沈まず、脚は閉じる。一定のスピードで回転を行う。回転中移動しない。	【ポイント】 顔は水面。腰を伸ばす。両肘を伸ばす。一定のスピードで進む。
	ステージ2	上向き水平姿勢 → スネール 5m	上向き水平姿勢 → バックバイク	♪ = 80 / 分 止めバック 15m
		【ポイント】 顔、胸、脚、足先は水面で身体を伸ばす。頭 (特に耳) 腰、足首は一直線上。安定したスカーリングで足先の方へ進む。	【ポイント】 両脚は閉じる。膝を伸ばす。両脚は水面に垂直。	【ポイント】 注: ♪ = 指定されたリズムで泳ぐ 片腕毎、水面に垂直の位置で腕を止め、80 / 分のカウントに合わせて、リズムカルに泳ぐ。顔は水面。キックは水中。肘を伸ばす。推進技術
	ステージ3	トービード 10m	サマーソールバックタック	サイドキック片腕体側、片腕水面 15m (中央で腕をチェンジする)
		【ポイント】 上向き水平姿勢を保ち、足の方へ一定の速いスピードで進む。スカーリングは肘から先を使う。	【ポイント】 シンクロナイズドスイミング競技規則別表4 フィギュアの解説参照	【ポイント】 身体を伸ばす。肘を伸ばす。キックは前後均等に動かし、一定のスピードで進む。腕のチェンジはスムーズでスピードは変えない。
初 級	ステージ4	下向き水平姿勢 → カヌー 5m 静止 5秒	上向き水平姿勢 → ベントニー姿勢 (右) → 上向き水平姿勢 → ベントニー姿勢 (左) → 上向き水平姿勢 (頭の方へ移動可)	エッグビーター 3m 前進 → 90° 方向転換 → 5秒静止
		【ポイント】 下向き水平姿勢 (顔は水面、水上どちらでも可) を保ち、一定のスピードで進む。かかと、臀部は水面。両脚は閉じる	【ポイント】 シンクロナイズドスイミング競技規則別表2 基本姿勢参照	【ポイント】 巻き足で3mの前進後、90度身体の向きを変える。安定した身体の高さ。
	ステージ5	リバーストービード 3m	平泳ぎ3回目以内に下向き水平姿勢 → ポーパス	♪ = 96 / 分 キックブル → キックオーバーを左右4セット
		【ポイント】 上向き水平姿勢を保ち、頭の方へ一定のスピードで進む。スカーリングは前腕を使う。	【ポイント】 3回目以内の平泳ぎで下向き水平姿勢になる。 ポーパスはシンクロナイズドスイミング競技規則別表4 フィギュア解説参照。	【ポイント】 注: ♪ = 指定されたリズムで泳ぐ 96 / 分のカウントに合わせてリズムカルに泳ぐ。腕と脚タイミングに注意。足はプレストキックで蹴る。顔は水上。
	ステージ6	両脚壁掛け (テーブル型)、サポートスカーリング 10秒	上向き水平姿勢 → バレーレッグシングル → 上向き水平姿勢 (頭の方へ移動可)	ヘッドアップクロール (肘曲げ) 15m
		【ポイント】 壁に後頭部、背中、臀部をつける。サポートスカルは上腕を固定し、前腕で水を掻く。	【ポイント】 バレーレッグシングルはシンクロナイズドスイミング競技規則別表4 フィギュア解説参照。移動は可。	【ポイント】 上体を起こし、顔は水上。キックは水中。一定のスピードで進む。

シンクロバジテスト基準表 7～12

		フィギュア	基本姿勢	基本動作	シンクロスイム
	ステージ7	101 バレーレッグシングル 1.6	スプリット姿勢 5秒静止	下向き水平姿勢 → フロント バイク姿勢になる	エッグビーター 右へ5m 移動 → 一旦静止し 180°回転 → 左へ5m移動する
		[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表4 フィギュア 解説 参照	[ポイント] スプリット姿勢はシンクロナ イズドスイミング競技規則 別表2 基本姿勢参照	[ポイント] 『フロントバイク姿勢になる』 はシンクロナイズドスイミ ング競技規則 別表3 基本動作 参照	[ポイント] 検定員に顔を向け開始。腕の位 置、スカルは任意。上半身の姿 勢、安定した移動。進行方向に より脚の位置が変化する。
	ステージ8	311 キップ 1.8	垂直姿勢でアップダウンを連 続2回繰り返す	ウォークアウトフロント	ブースト
		[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表4 フィギュア 解説 参照	[ポイント] 水中より垂直姿勢で浮上し、 頂点到達後、垂直沈み込みを 行う。続けて2回行う。	[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表3 基本動作参 照	[ポイント] 検定員に対して、横向きで行 う。水面で構え頭からのブー ストを行う。ブースト時の腕 の位置は任意。
	ステージ9	360 ウォークオーバーフロ ント 2.1	フィッシュテイル姿勢5秒静 止 → 垂直姿勢 → 垂直沈み 込み	スラスト → 垂直沈み込み	♪ = 128 / 分 ミニルーティーン
		[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表4 フィギュア 解説参照	[ポイント] フィッシュテイル姿勢5秒静 止。ジョイントし垂直姿勢に なり垂直沈み込みを行う。	[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表3 基本動作参 照	[ポイント] 注：♪＝指定されたリズムで 泳ぐ 実施要項 P16、教材 DVD 参照
	ステージ10	128 アイフェルウォーク 2.9	スプリット姿勢 → ナイト姿 勢 5秒静止	上向き水平姿勢 → フラミン ゴ姿勢 → ベントニー垂直姿 勢 → 沈み込み	♪ = 90 / 分 左先行のエッグビーター横進1～4 → 5で 水面に上体を倒す(右肩) → サイドキッ ク(腕は水面に垂直) 6～8 → 1、2で上 体を起す → 3～8 エッグビーター横進
		[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表4 フィギュア 解説参照	[ポイント] スプリット姿勢から開始し、 ナイト姿勢で5秒静止する。	[ポイント] (上向き水平姿勢から開始し) ベントニー垂直姿勢までフラ ミンゴベントニーを行う。	[ポイント] 注：♪＝指定されたリズムで泳ぐ エッグビーターからサイドキック、 サイドキックからエッグビーター の切り替え時、上体が沈まない。 90 / 分のカウントに合わせて泳ぐ
	ステージ11	301 バラクダ 2.0	垂直姿勢 10 秒静止 → 垂直 沈み込み	下向き水平姿勢 → フロント バイク姿勢 → 水中バレー レッグダブル姿勢	平泳3回 → ブースト連続3 回 (3回目両腕上)
		[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表4 フィギュア 解説 参照	[ポイント] 水中より垂直姿勢で浮上し、 垂直姿勢で 10 秒静止。垂直 沈み込みを行う。	[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表3 基本動作参 照	[ポイント] 平泳ぎを2回行い、3回目に 構え、連続3回の頭からの ブーストを行い、3回目の頂 点で両腕を上げる。
	ステージ12	311a キップ 半回ツイスト 2.2	垂直姿勢3秒静止後 → 半 回ツイスト → 垂直沈み込み	カタリーナローテーション	♪ = 128 ミニルーティーン
		[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表4 フィギュア 解説 参照	[ポイント] 水中より垂直姿勢で浮上し、 垂直姿勢で3秒静止後、半回 ツイストを行い、続けて垂直 沈み込みを行う。	[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表3 基本動作参 照	[ポイント] 注：♪＝指定されたリズムで 泳ぐ 実施要項 P17、教材 DVD 参照

シンクロバジテスト基準表 13～15

		フィギュア	基本姿勢	基本動作	シンクロスイム
	ステージ13	115 カタリーナ 2.3	♪=60/分 上向き水平姿勢 → ベントニー姿勢 → バレレグ姿勢 → フラミンゴ姿勢 → バレレグダブル姿勢 5秒静止	垂直姿勢で3秒静止 → スピ ン 360°	① 5m 潜水→頭からのプースト両 腕上げ ② 5m 潜水→水中で 90° 方向転換 → 正面頭からのプースト両腕上げ
		[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表 4 フィギュア 解説 参照	[ポイント] 60/分のカウントに合わせて、上 向き姿勢から安定した姿勢を正確に 続けて行う。バレレグダブル姿 勢で5秒静止する。移動はしない。	[ポイント] スピン 360° はシンクロナ イズドスイミング競技規則 別 表 3 基本動作参照	[ポイント] ①と②は連続して行う。 潜水は壁を蹴らずにスタート。 頂点で両腕が上。水切れのよ いプーストを行う。
	ステージ14	311g キップ ツイストスピ ン 2.7	頭からのドルフィン → ベント ニーサーフィスアーチ姿勢 → ベ ントニー垂直姿勢で 10 秒静止後 → ベントニー垂直姿勢で沈み込む	垂直姿勢で3秒静止 → コン ティニアススピン 720° 以 上	両腕上げエッグピーター前進 5m
		[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表 4 フィギュア 解説 参照	[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表 4 フィギュア 解説 435 ノバの一部を行う	[ポイント] コンティニアススピンはシン クロナイズドスイミング競技 規則 別表 3 基本動作参照	[ポイント] 安定した高さで推進技術
	ステージ15	421 ウォークオーバーバッ ククロージンク 360° 2.2	垂直姿勢（膝の中心より上） で 10 秒間静止	垂直姿勢 3 秒静止 → トワー ル	♪ = 128 / 分 ミニルーティーン
		[ポイント] シンクロナイズドスイミング 競技規則 別表 4 フィギュア 解説 参照	[ポイント] 安定した高さを 10 秒間保 つ。移動はしない。	[ポイント] トワールはシンクロナイズド スイミング競技規則 別表 3 基本動作参照	[ポイント] 注：♪ = 指定されたリズムで 泳ぐ 実施要項 P18、教材 DVD 参照

※本基準表の基本姿勢・基本動作は、シンクロバジテストのカリキュラムである。

ミニルーティン ステージ9

♪ = 128 / 分

スタート

1 ~ 4	5 6	7 8	1 ~ 6	7	8		
立泳ぎ	右手水面	横向き	手の動作	進行方向に構える			
1 ~ 4	5 ~ 8	1 ~ 4	5 ~ 8	1 ~ 4	5 ~ 8		
プレスト	プレスト 首右左	右手前 キックプル	右手前 キックオーバー	プレスト	フロント パイク		
1 2	3 4	5 ~ 7	8				
フィッシュテイル	垂直	足首	タック				
5 ~ 8	3 4	1 2	1 ~ 8	7 8	5 6	1 ~ 4	
						水中	
スプリット	180°ターン	タック変形	バレーレグ シングル	上向き	右手前 サイドキック	方向転換	
8	5 ~ 7	4	3	1 2	5 ~ 8	4	1 ~ 3
構える	プレスト	進行方向	立泳ぎ	横向き	浮き上がり トービード	サーフィス アーチ	ウォークアウト
				7 8	5 6	2 ~ 4	1
				横向き ポーズ	左手進行方向	プースアップ	

←

♩ = 128 / 分

スタート

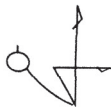
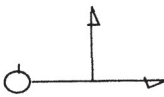
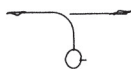
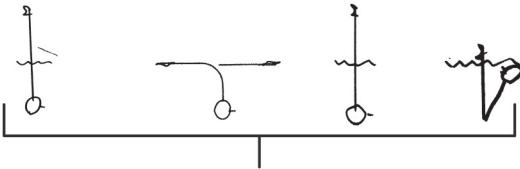
1 ~ 4	5	6 ~ 8	1 2	3 4	5 6	7 8
立泳ぎ横向き	右手水面	右上手 サイドキック	バック揃える	上向き	ベントニー	バレレレッグ
1 ~ 4	5 ~ 8	1 ~ 4	5 ~ 7	8	1 ~ 4	5 ~ 8
						オイスター
1 2 3	4 ~ 6	7 8	1 ~ 4	5	7 8	1 2
水中			水中移動		手首止める 手首回す	
スラスト		水中で タック		両手上げ プースアップ		
1 ~ 8			5 ~ 8	1 ~ 4	5 ~ 8	3
				左手前 キックプル キックスプラッシュ から サイドキック		方向転換 回りながら出る
サイドキックで 手の動作			サイドキック		ブレスト	
4 3 2 1	5 ~ 8	1 ~ 4	7 8	5 6	3 4	1 2
		水中				
足首				ポーパス		
2 3 4			1	7 8	6	5
					水中	
			横向き ポーズ	左手 進行方向		タック

←

ミニルーティン ステージ15

♪ = 128 / 分

スタート

3 4	1 2	7 8	5 6	1 ~ 4	7 8	5 6	3 4	1 2
								
タッフ	チェンジ 2 回		フラミンゴ P	バレーレッグ	上向き	サイドキック		
8	5 ~ 7	3 4	1 2	7 8	5 6	2	1	5 ~ 8
手を あげて 沈む								
	手を回す		上向き 両手あげ		サイドキック	起きる	片脚ジャンプ オーバー スプリット	
4	2 3	1	1 ~ 8	8	7	5 6	3 4	1 2
	両手をあげ ブー ス ア ッ プ		水中移動					
手首残す	ロケットスプリット							
5 ~ 8	1 ~ 4	5 6	7 8	1 ~ 8				
180°回りながら 出る				キックプル キックオーバー 2 回				
両手上げ 立泳ぎ		手をおろす	構える					
1 2	3 4	5 6	7 8	1 2	3 4	5 6	7 8	
								
立泳ぎ	サイドキック		フロント パイク					
1 ~ 8	1 ~ 4	5 ~ 7	8					
	水中			ポーズ				
コンティニアスピン								

公益財団法人 日本水泳連盟

シンクロバッジテスト規程

(SYNCHRONISED SWIMMING BADGE TEST)

第1条 (目的)

本規定は（公財）日本水泳連盟シンクロ委員会がシンクロバッジテスト基準を定め、競技者に対する目標設定とシンクロ技術の向上および社会体育の一環として広く普及発展に寄与することを目的とする。

第2条 (公認シンクロバッジテスト検定員の認定)

公認シンクロバッジテスト検定員は、（公財）日本水泳連盟公認シンクロ審判員（A・B級）資格保有者で本連盟が公認した者とする。

第3条 (公認シンクロバッジテスト検定員の義務)

公認シンクロバッジテスト検定員は（公財）日本水泳連盟の公認シンクロバッジテスト検定員としての誇りと自覚をもち、本規程の目的をよく把握し、シンクロバッジテスト実施にあたっては、厳正かつ公正に行うものとする。

第4条 (公認シンクロバッジテスト検定員の認定取り消し)

公認シンクロバッジテスト検定員が下記項目に該当するときは、本連盟理事会の決議により、公認シンクロバッジテスト検定員資格を取り消すことがある。

- (1)（公財）日本水泳連盟公認シンクロ審判員（A・B級）資格の登録有効期限が切れ、資格を喪失したとき
- (2) 本連盟が定める定款及び規程に違反したとき
- (3) シンクロバッジテストに関して不正行為が認められたとき
- (4) 公認シンクロバッジテスト検定員として著しく品位を失う行為が認められたとき
- (5) 何等かの事由により公認シンクロバッジテスト検定員としての任務遂行ができなくなったとき

第5条 (シンクロバッジテスト)

シンクロバッジテスト実施にあたっては、別に実施細則を定める。

第6条 (シンクロバッジテスト基準)

シンクロバッジテストの採点基準は別表の通りとする。また、シンクロバッジテストの採点基準の変更はシンクロ委員会の決議による。

第7条 (シンクロバッジテスト認定証及び認定バッジの授与)

シンクロバッジテストにより、相当のステージのシンクロ技術が認められた者（合格者）にはシンクロバッジテスト「認定証」と「認定バッジ」を授与する。

第8条 (シンクロバッジテスト検定料及び認定料)

シンクロバッジテスト検定料はステージ1から6は一人1ステージ1,500円。ステージ7から15までは1ステージ2,000円。シンクロバッジテスト合格者の「認定証」および「認定バッジ」代は1ステージ1,500円とする。

ただし、検定会場使用料等が必要な場合は、必要最低限の範囲で受験者から諸経費の徴収を認める。

(附則)

1、本規程は2005年4月1日より施行実施する。

本規程は2015年4月1日より一部改定実施する。

公益財団法人 日本水泳連盟

シンクロバッジテスト実施細則

第1条 (シンクロバッジテストの公表)

シンクロバッジテストを実施する団体はシンクロバッジテスト開催日の実施要項を公表し広く受検者を募集する。

第2条 (シンクロバッジテスト受検者)

シンクロバッジテスト受検者は定期的にシンクロの練習をしている健康な者であること。

第3条 (シンクロバッジテスト役員)

1. シンクロバッジテストにおける諸事項に最終判断を下す者は、(公財)日本水泳連盟シンクロ委員長とする。
2. シンクロバッジテストを円滑に運営するために、公認シンクロバッジテスト検定員の他に補助役員として必要人数を配置することが望ましい。
3. シンクロバッジテスト役員の任務は(公財)日本水泳連盟シンクロ競技役員の任務に準ずる。

第4条 (シンクロバッジテストの合否判断基準)

シンクロバッジテストにおける合否の判断基準は、別に定めるシンクロバッジテスト基準点に達し、かつ(公財)日本水泳連盟シンクロ競技規則に準じたものであること。

第5条 (事故防止と賠償責任保険の付保)

シンクロバッジテストの運営にあたっては、事故未然防止を最優先にし、事故防止に努める。また、万が一の場合に備え賠償責任保険に加入し、シンクロバッジテストを実施する団体の責任において事故対策を行うものとする。

第6条 (シンクロバッジテストの結果報告)

シンクロバッジテストを実施した団体責任者はシンクロバッジテスト終了後すみやかに、受験者名簿・結果報告書を作成の上、(公財)日本水泳連盟シンクロ委員会と実施した加盟団体シンクロ委員会に同時に提出する。

(附則)

1、本規程は 2005 年 4 月 1 日より施行実施する。

公認シンクロバジテスト検定員規程

第1条 (目的)

この規程は公益財団法人日本水泳連盟（以下「本連盟」という）および加盟団体が主催または主管する公認シンクロバジテストにおいて、検定の公正をはかり、あわせて検定技術および検定員の資質の向上を図ることを目的とする。

第2条 (公認検定員の種類)

本連盟が公認するバジテスト検定員（以下「公認検定員」という）は、

- 1) 公認シンクロバジテストA級検定員
- 2) 公認シンクロバジテストB級検定員

の2種とする。

第3条 (バジテストの公認検定員の構成)

- 1 ステージ1・2・3・4・5・6は、公認A級検定員2名または公認A級検定員2名と公認B級検定員1名の3名で構成する。
- 2 ステージ7・8・9・10・11・12・13・14・15は、公認A級検定員3名で構成する。

第4条 (公認検定員の資格審査基準)

- 1 公認A級検定員
 - 1) 養成講習会受講時にA級シンクロ公認審判員であること。
 - 2) 本連盟または加盟団体が主催し本連盟が公認した養成講習会に参加し、判定試験に合格した者。
- 2 公認B級検定員
 - 1) 養成講習会受講時にB級シンクロ公認審判員であること。
 - 2) 本連盟または加盟団体が主催し本連盟が公認した養成講習会に参加し、判定試験に合格した者。

第5条 (昇格の基準)

公認B級検定員から公認A級検定員への昇格

- 1) 下記の条件を全て満たした場合は、昇格の資格が認められる。
 - イ) A級シンクロ公認審判員資格を取得した者。
 - ロ) 原則として、過去1年間に検定実績があると認められた者。

第6条（公認検定員の認定）

公認検定員は、資格審査委員会で審査し、本連盟が公認する。

第7条（登録）

- 1 本連盟が公認した者は、公認検定員として登録することができる。
- 2 資格認定の通知を受けた者は、本連盟指定の登録申請用紙に必要事項を記入し、本連盟に提出する。
- 3 登録者には公認検定員資格証を交付する。
- 4 資格認定された者が、指定された期日までに登録の手続きをしなかった場合は自動的にその資格は取り消される。
- 5 登録の有効期間は4年間とする。
- 6 登録後、申請書内容に変更（転居、改姓等）が生じた場合は、速やかに本連盟シンクロ委員会へ書面で報告する。

第8条（更新の手続き）

- 1 公認検定員は、指定された期日までに、本連盟指定の更新申請用紙に必要事項を記入し、本連盟に提出する。
- 2 登録の有効期間内に4回以上の検定員実績のない公認検定員の更新は認めない。
- 3 公認検定員が、更新手続きをしなかった場合、その資格は失効する。

第9条（資格の取り消し）

公認検定員が下記項目に該当するときは、本連盟理事会の決議により、公認検定員資格を取り消すことがある。

- 1 本連盟が定める定款および規程に違反したとき。
- 2 バッジテストに関し不正行為が認められたとき。
- 3 公認検定員として著しく品位を欠く行為、また犯罪等の反社会的行為があったとき。
- 4 何等かの事由により、公認検定員として任務遂行ができなくなったとき。

第10条（附則）

この規程実施のための細則は別に定める。

第11条（施行）

本規程は、平成23年（2011年）4月1日より実施施行する。